

Ⅱ 職業適性診断システム キャリア・インサイト (In★Sites 2000)

雇用・能力開発機構東京センター



東京センター相談専門役の生島晃子さん

住宅リフォーム会社で正社員として働いてきた二〇代前半の鈴木一郎さん(仮)。三年間がんばったが、内装工としての技術に自信が持てず、他の業種に転職を探索すると退職した。同じ内装工の仕事なら他社から声もかかっていないが断って、初めてハローワークを訪ねた。ところが、ほかに特別な能力も

経験もないし、どんな職業が向いているのかわからない。たまたま手にした職業適性診断システムのちらしに導かれ、雇用・能力開発機構東京センター(東京・飯田橋)に向かった。同センターでは、パソコンによる職業適性診断システム「キャリア・インサイト(商品名) In★Sites 2000」を設置、来訪者は自由に利用できる。パソコンに抵抗感が少ないこともあり、

センターを訪れるほとんどの若者が、まずこのシステムを利用する。センターには専門のカウンセラーが常駐。診断結果を手がかりに、本人の悩みを引き出しながら、適職探しが開始される。職業選択を手助けする「キャリア・インサイト」のターゲットは、大学在学中から三〇代前半までの若者。利用者は、パソコン画面上に表示される質問に、回答のボタンをクリックしながら進む。すべての質問に回答し、採点ボタンをクリックすると、適性や能力などの評価が即、表示される。システムは四つのコーナーからなる。

まず、適性診断コーナー。能力・興味・価値観・行動特性を質問し、それぞれの評価から、職業適性が分析される。たとえば能力については、五四種類に及ぶ活動や作業についての程度自信をもっているかを聞く。採点の結果、八つの能力タイプから本人に当てはまるものが示され、その能力に合致する職業リストを見ることが出来る。二つめは、総合評価コーナーで、能力と興味から適性を総合的に診断。あわせて適職をリストアップしてくれる。三つめのコーナーは、職業に関する情報。四一七もの職業について分野・能力・

